

地域整備方向検討調査『笹ヶ峰二期地域』 調査概要の紹介

1. 地区の概要

本地区は、長野県境に近い新潟県南西部の妙高市（旧中頸城郡妙高高原町）に位置する妙高山南麓の標高1,200m余りの山間地におきまして、一級河川関川の下流に広がる農地約5,800haの農業用水補給水源として昭和54年に国営関川農業水利事業で築造された「笹ヶ峰ダム」の周辺に位置しています。



笹ヶ峰ダム

ダム貯水池周辺に発生しました大規模地すべりに対し、平成2～17年度に直轄地すべり対策事業「笹ヶ峰地区」を実施し、水抜きボーリング工などの抑制工やアンカー工などの抑止工を行うことで、地すべりによる被害を防止又は軽減し、農業用施設を守るとともに、国土を保全してきました。

2. 地区の課題

前歴事業完了後、新潟県において管理観測を行ってきました。貯水池右岸側の地すべりブロックにおいて、観測計器が継続的な変位を示すとともに、既設対策工にも変状が見られることから、地すべり対策要否の検討が必要な状況となっています。

前歴事業での施工状況



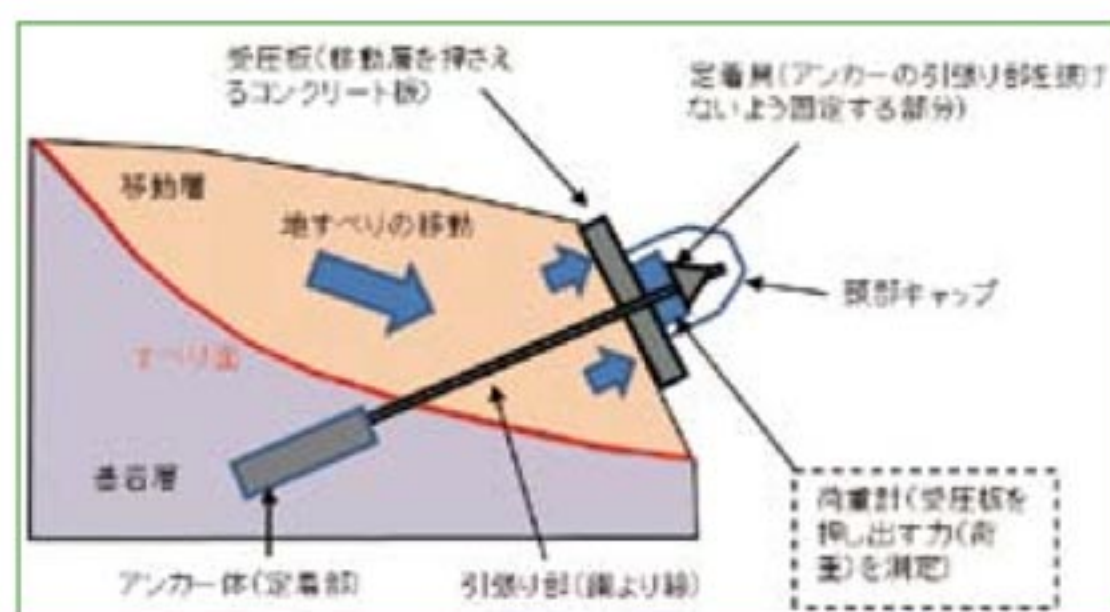
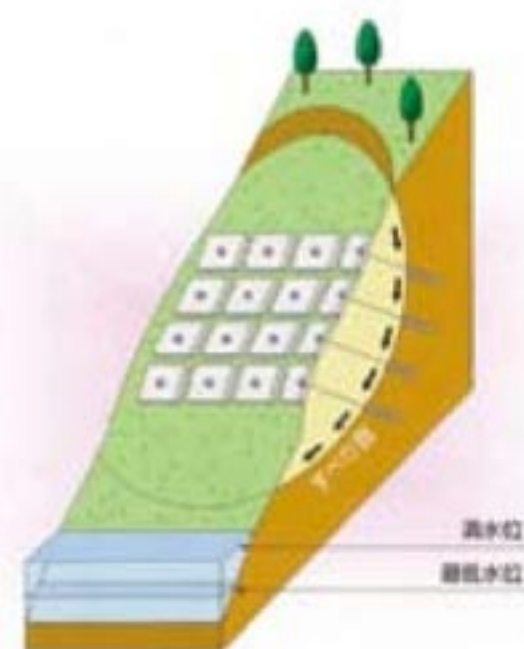
アンカー工



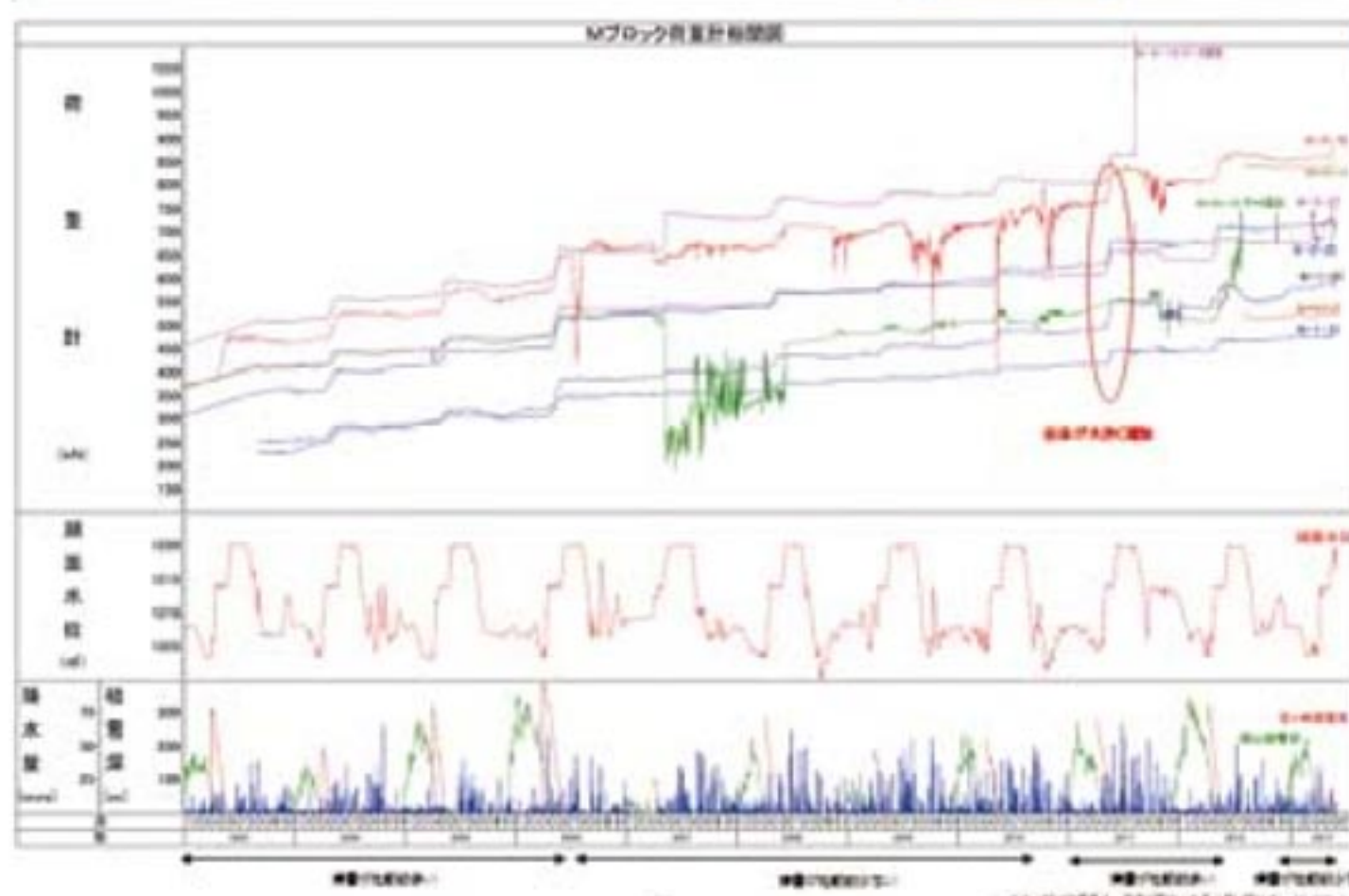
アンカー線挿入孔の削孔



受圧板の製作



アンカー概略図

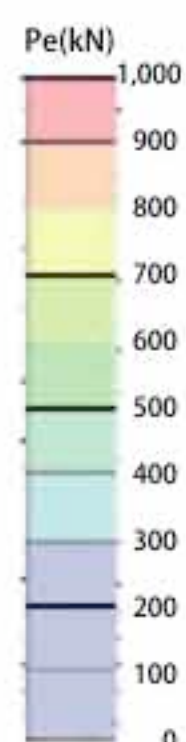


アンカー荷重計測値

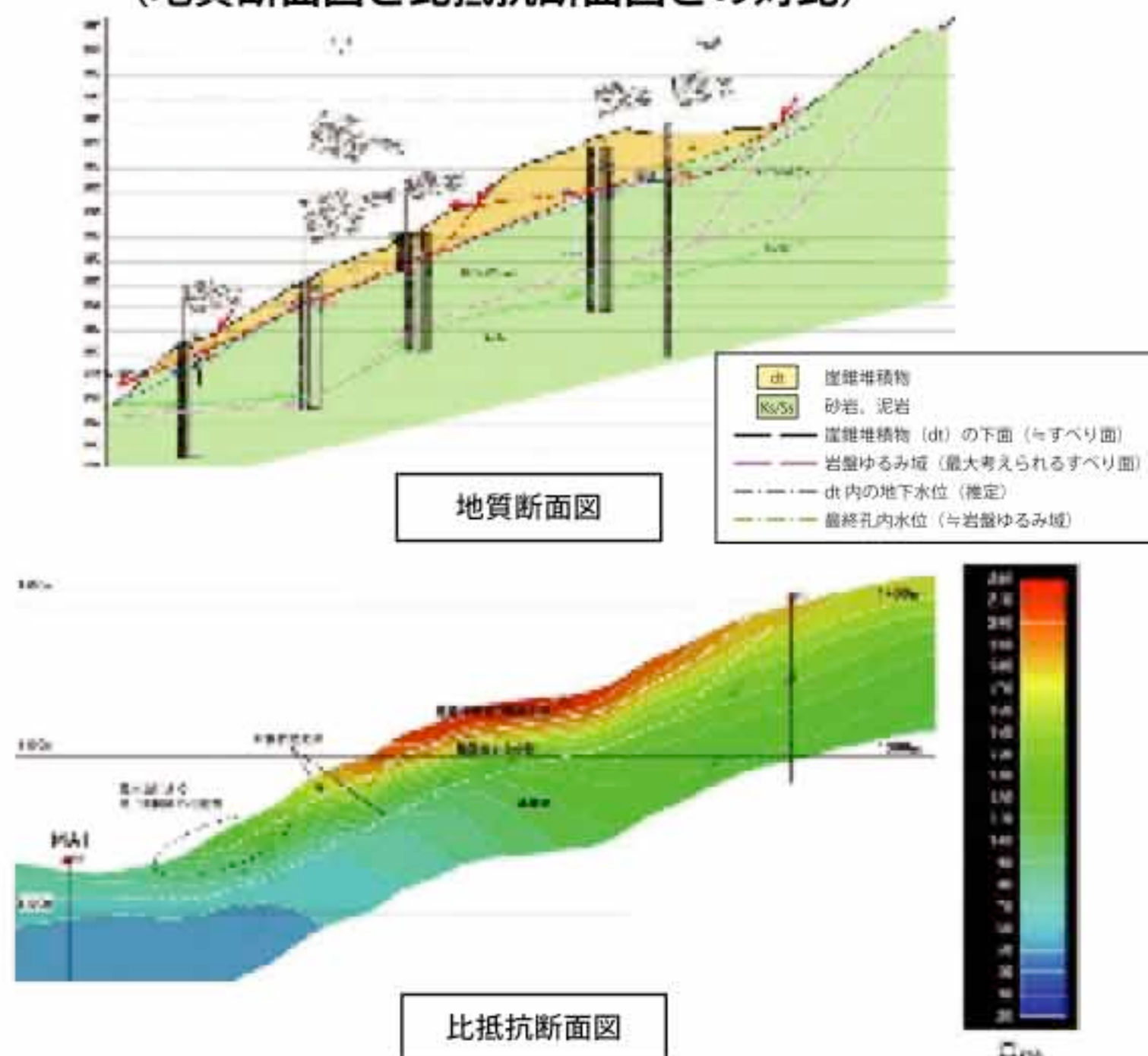
3. 調査内容

地域整備方向検討調査では、前歴事業で対策を行った各ブロックについて変状の確認と施設の健全度を評価し、観測計器で変位が確認されたM・Bブロックにおいて、地形測量、既設アンカー工の状態確認、空中物理探査及び地質調査等を行い、地質の分布、性状の把握及び地すべり範囲を確認し、地すべり対策工法を検討する予定です。

既設アンカー工の状態確認 (アンカーリフトオフ試験)



空中物理探査 (地質断面図と比抵抗断面図との対比)



笹ヶ峰地区一般計画平面図

